

## ソーシャルファームと西成区への適用

恩賜財団済生会理事長  
ソーシャルファームジャパン理事長  
炭谷 茂

- 1 日本において解決されない最近の多くの地域社会問題  
「日本社会の底が抜けている」  
量的に増大、質的に困難化。新しい課題の出現  
一人の人間に問題が融合的に集中  
若いホームレス  
貧困、社会的排除、疾病、犯罪に関係  
地域の崩壊  
西成区に象徴的に表れている → 西成区の問題を解決することは日本  
全体の問題の解決方法を得る
- (1) 古くからある問題
  - ① 障害者の社会参加が進まない  
精神障害者、知的障害者の就業率
  - ② 刑余者の社会復帰の壁  
再犯率の高さ  
高齢者、知的障害者の割合 など
- (2) 新しい問題
  - ① 若年の失業者、非正規雇用の増大  
将来の日本に暗い陰  
若年ホームレスの増大
  - ② 孤立死、無縁死、孤独死  
大都市に散在する新たな「スラム」の出現  
ごみ屋敷、猫屋敷
  - ③ 児童虐待の増大と残虐化  
男性による虐待
  - ④ 自殺者数の高止まり  
経済の低迷の長期化 など
- 2 背後に存在するものを認識する必要

(1) 家庭の扶養機能の弱体化、地域社会や企業のつながりの脆弱化  
社会的排除と孤立の進行

(2) 貧困層の増大と堆積

かつての中流社会様相を一転

長期化する経済の低迷

高齢者、母子家庭、ニートたち

雇用者の3分の1が非正規雇用。ワーキングプアの増大

子どもに承継される貧困

(3) 他人との薄いかかわりに留める社会心理の蔓延

情報化社会の進展

### 3 日本のまちの衰退

(1) 大都市は、孤立する高齢者、点在する環境悪化地域の発生

(2) 地方都市は、中心市街地の空洞化

(3) 限界集落

→ 日本全体の経済・社会が長期的な衰退傾向

### 4 ヨーロッパと共通化

(1) 1990年代若年失業者、障害者、ホームレス、外国人、薬物依存症の人などに対する社会的排除の進行

フランス、イギリス、ドイツ、EU

(2) ソーシャルインクルージョンの理念の登場

(3) 平成12年12月「社会的援護を必要とする人々に対する社会福祉のあり方について」報告

日本でソーシャルインクルージョンの必要性を訴える

### 5 CANから学ぶ

(1) 平成13年11月

A モーソンを日本に招く

ブロムレイ・バイポー（イギリスの第2のスラム）を再建

(2) 手法

社会的企業家、ニーズ本位、あらゆるものを活用、住民参加  
→ まちの活性化

(3) 14年5月 大阪あいりん地区で「日本型CANによるまちづくりの集まり」を始める

6 ソーシャルインクルージョンとは

(1) 人権啓発、教育ではなく具体的事業で

社会的排除・孤立 ⇔ 就労・教育等の機会の喪失



地域社会問題へ

(2) 地域で住民参加によって

7 仕事の開発の緊急性

第3の職場が必要

公的な職場 … 社会的な目的のため、税金が投入されて作られる職場

一般企業 … 大企業には障害者雇用率が適用

社会的企業 … 社会的な目的、ビジネス的な手法  
就労者の状態に合った生きがいの感じる仕事  
住民参加も

8 第3の職場の一つとしてソーシャルファームが重要

(1) 1970年代北イタリア トリエステで生まれる

障がい者を対象として発展してきたが、近年対象の範囲を拡大

難病患者、高齢者、ホームレス、刑余者等も

ヨーロッパで定着、各国によって特徴がある

当事者が健常者と一緒に働く

(2) 日本にも有効

- ① 日本で2千社作るべく、それを支援するためソーシャルファームジャパンが2008年12月発足、活動

対象者は2千万人以上

- ② ソーシャルファームの位置づけ
  - 生涯の働く場として
  - 次の職場への中間施設として
  - 職業・生活訓練として
  - ベンチャービジネスへの発展
  - 日本の産業の基盤に

## 9 日本におけるソーシャルファームの実践

### (1) 未来の日本を担う分野に進出

今後の成長産業、他との競争に勝てる、社会的意義が大きい  
付加価値が高い、新産業の誕生

#### ① 環境

3R … 秦野市の弘済学園の古本販売  
江東区のエコミラ江東の廃プラリサイクル  
釜ヶ崎支援機構による放置自転車のリサイクル  
回りの物すべてが3Rの対象になる

地球温暖化対策につながる

玉野市の「のぞみ園」の竹を伐採し、竹炭作り  
北海道芽室町による障害者の木材ペレットの製造

生物多様性にも

津山市のヌートリアの捕獲

#### ② 農業、酪農

北海道新得町の共働学舎のチーズ作り  
飯能市のたんぼぼによる自然農法等による野菜栽培  
菊池市のきくち農園の古代米作り

#### ③ 福祉

豊島区の豊苾会による高齢者向け宅配弁当

#### ④ 製造業

大津市のガンバカンパニーのクッキー作り  
甲府市の緑の風によるパン作り

- ④ サービス業  
特産物の販売、芸術作品販売、ホテル、コンビニも  
姫路市の門口堅蔵氏の白鳥城

(2) 発展していくためのポイント

- ① 商品・サービスの開発  
需要がある、ニッチなもの、独自性、労働集約的
- ② 販売力の強化  
ソーシャルファームブランドの確立（ロゴマーク）
- ③ 経営資金の確保  
国、地方自治体の助成、民間助成団体  
ソーシャルファームのスピリットは、税に依存せず、自主独立  
が基本  
ソーシャルファイナンス
- ④ オーガナイザーが重要  
地域での情熱家
- ⑤ 支援者の確保  
行政、企業、住民の支援

10 西成区への適用の可能性

(1) 新産業を興す

ソーシャルファームによる3R環境産業の集積地域に  
家電、古着、古本、楽器、廃プラ、廃アルミ等々  
アンティーク、フリーマーケットとして

有利性

多く人材  
材料の確保

新しい観点から  
付加価値を加える  
第4次産業的感覚で

他地域でなされていない独自性、先駆性で

(2) まちづくりとして

ソーシャルファームによって地域の活性化  
飯能市、愛媛県愛南町の例  
イギリス古本のまちヘイオンワイ  
外から人が訪れる

新たな公の形成  
誰もが参加する社会

(3) 人間としての尊厳性を得るために  
仕事と教育

(了)